

# 重点事業調書

担当部局・課名		環境文化部環境管理課					
新生活活きプラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
	戦略的ガム	7 快適な生活環境保全プログラム					
	施策	1 <b>重点水</b> 、大気、土壌などの保全対策の推進					
総合戦略	基本目標	—					
	対策	—					
	政策パッケージ	—					
重点事業の名称		児島湖ブルーの復活とPR事業					
終期設定(年度)	32	予算区分	一般	事項名	児島湖環境保全対策費		
現状・課題・根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>児島湖は、湖水が通門操作により不定期に排出される形態であることに加え、流域人口は67万人に達し、周辺に農地が多いなど水質汚濁しやすい条件が揃っている。</li> <li>児島湖の水質は、CODなどいずれの項目も環境基準を達成できていないが、7次にわたる湖沼水質保全計画に基づく取組の成果により、緩やかな改善傾向を示しており、項目によっては基準達成が見え始めている。</li> <li>数値上の水質改善が窺える中、茶色く濁った『見た目』が悪いことから、実際の水質以上に『汚い』とのイメージが先行し、児島湖への県民の関心は低い。</li> </ul> <p>したがって、これまでの汚濁負荷削減等の取組に加えて、『見た目』の改善に繋がる施策に取り組むことにより、県民が水に親しみ・憩える、季節によっては「観光資源」ともなる、透明度が高く青い水を湛える児島湖を目指す。</p>						
事業の内容	<p>1 児島湖ブルーの復活とPR事業 《18,523千円》</p> <p>(1) <b>新規</b>生物の力による水質浄化 《4,673千円》          湖水の着色原因であるプランクトンや湖岸で大量発生しているユスリカの幼虫（アカムシ）などを捕食するテナガエビの生息数が減少しているため、漁礁を設置しテナガエビの生息に適した環境づくりに取り組むことにより、持続的なプランクトンの減少を図るとともに、漁獲を通じて有機物を湖外へ持ち出すことによる水質浄化を図る。また、プランクトンをろ過摂取し水質浄化機能の高いシジミなどの二枚貝の増殖も目指し、増殖方法等に関する調査研究に取り組む。</p> <p>(2) <b>新規</b>物理的プランクトン除去による水質浄化 《1,020千円》          湖水の着色原因であるプランクトンを直接的に除去するための物理的手法について、滞水域での実証試験の実施を目指し、児島湖に適した手法や維持管理等における経済性に関する調査研究を行う。</p> <p>(3) <b>新規</b>人の五感による水質評価 《395千円》          CODの数値は汚れの総量を精密に示す一方で、見た目との相関が低く県民にわかりにくいいため、視覚や嗅覚などの人の五感を用いた県民にわかりやすい水質評価手法の導入に向け、マニュアルを策定する。</p> <p>(4) <b>拡充</b>農地からの汚濁負荷削減 《6,511千円》          児島湖のリン濃度は全国2位（2015年度）と高く、プランクトンの繁殖原因にもなっているため、周辺農地でのL字型肥料への転換を促進・定着させ、流入負荷の35%を占める農地からの流出削減を図る。</p> <p>(5) <b>環境</b>水利権の取得 《5,924千円》          新たに環境水利権を取得し、浄化用水を旭川から導水することにより、湖水の流動性を高め、湖水の滞留日数の短縮化等を図り、湖内でのプランクトン発生量など内部生産量を減少させる。</p>						
事業の意図・効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>湖水が茶色になるのは、珪藻類などのプランクトンの発生が原因だと考えられるため、プランクトンを除去する生物の増殖などの持続的な方策、ろ過等の物理的かつ直接的な方策の両面から取り組むこととし、その成果は、従来のCOD等の水質測定結果に加えて、透明度や人の五感を用いた県民にわかりやすい方法により評価する。</li> <li>農地からのリン流出量の削減を図ることで、プランクトンの栄養源であるリン濃度を減少させるとともに、環境用水の導水により、湖水の流動性を高め、滞留日数の短縮化を図り、湖内でのプランクトンの発生量を減少させる。また、こうした対策は、湖水の着色を解消するだけでなく、水質を確実に改善する。</li> </ul>						
目標設定	事業	生き活き指標、重要業績評価指標(KPI)等			現状値	目標値	
	1(1)～(5)	第7期湖沼水質保全計画(目標値)			COD 8.0mg/L(H28) 全窒素 1.2mg/L(H28) 全リン 0.18mg/L(H28)	COD 6.8mg/L(H32) 全窒素 1.0mg/L(H32) 全リン 0.15mg/L(H32)	
見積もり	区分	H29 予算額	H30 予算要求額	H31 見込額	H32 見込額	H33 以降見込額	
	事業費(単位:千円)	11,665	18,523	14,599	14,599		
	財源内訳	国庫					
		起債					
		その他特定財源					
一般財源		11,665	18,523	14,599	14,599		

# 児島湖ブルーの復活とPR

～児島湖の水質（COD（※）：環境基準 5mg/L）～

（※）化学的酸素要求量のこと、湖沼等の有機汚濁を測る指標。

20年前：11.0mg/L  
(1994～1996年平均)

現在：7.6mg/L  
(2014～2016年平均)

31%も改善

## 湖沼計画に基づく取組内容

- ・工場排水対策（排水規制・監視指導）
- ・生活排水対策（下水道等の整備）
- ・流出水対策（農地対策・都市地域対策）
- ・農業用水の再利用
- ・流入河川等の浚渫
- ・アダプト事業、普及啓発 .etc

でも、まだ  
茶色く濁った湖水  
(主な原因はプランクトン)

### 【課題】

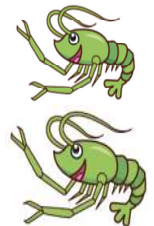
- ・実際の水質以上に『汚い』イメージが先行
- ・水質改善に係る県の取組が実感されにくい。

→ 県民の児島湖への関心を失うおそれ  
(親水機会の喪失・水質改善にブレーキ)

見た目の改善が必要！  
(プランクトン対策)

## ① 生物の力による水質浄化

- ・プランクトン等を捕食するテナガエビ増殖方法の実証試験  
(生息環境創出のために湖内3か所への貝殻漁礁の設置)
  - ・ろ過能力が高いシジミなど二枚貝の増殖手法の調査研究  
(湖内の底質調査等による生息適地・増殖方法に係る調査)
- 特産品化も期待！児島湖の価値UP！



## ② 物理的プランクトン除去による水質浄化

- ・プランクトンの除去手法について、湖内（例：ふれあい野鳥親水公園）での実証実験の実施を目指し、処理効率や経済性も含め、児島湖に適した方法を調査研究
- \* 除去手法：膜ろ過、砂ろ過 .etc



## ③ 人の五感による水質評価

- ・「見え方」を評価できる人の五感を用いた水質評価手法の導入に向けたマニュアル策定

＋環境水利権の取得

＋これまでの取組

＋農地からの汚濁負荷削減（拡充）

透明度アップ！



水と親しめる場

憩える場

味わえる湖

## 児島湖の魅力・関心UP！

- ・水質改善の取組も加速
  - ・CODも基準達成へ
- そして観光資源に・・・。

好循環



# 平成29年度児島湖流域環境保全推進期間行事活動の実施実績について

児島湖流域の環境保全を推進するため、児島湖流域環境保全推進期間中に、県、国、流域市町、民間団体等が一体となり、流域住民の理解と協力のもとに、県民運動として各種行事を実施しました。

## 1 期間

平成29年9月1日（金）から11月30日（木）まで

## 2 主催等

### (1) 主催

岡山県、児島湖流域環境保全対策推進協議会（会長 佐藤副知事）

#### 【協議会構成団体】

岡山県、岡山県議会、次世代に誇れる児島湖・湾を考える議員懇談会、中国四国農政局、中国四国地方環境事務所、児島湖流域6市町、岡山県環境衛生協会、児島湾土地改良区等（53団体）

### (2) 共催

（公財）児島湖流域水質保全基金、（公財）岡山県環境保全事業団

### (3) 後援

新聞関係9社

山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局、産経新聞岡山支局、中国新聞備後本社、日刊工業新聞社岡山支局、共同通信社岡山支局、時事通信社岡山支局

放送関係7社

NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、エフエム岡山

## 3 期間中の行事の概要

### (1) ポスター・パネル展（別添1参照）

ア 日 時 ①9月1日（金）～9月5日（火） 9時～21時

②10月11日（水）～10月15日（日） 9時～21時

イ 場 所 ①アリオ倉敷（倉敷市寿町12-2）

②岡山県生涯学習センター（岡山市北区伊島町3-1-1）

ウ 内 容 ポスターコンクール入賞・入選作品（100点）展示、啓発パネル展示、児島湖に生息する魚類等の展示など

エ 来場者数 ①延べ約2,000人（現地での簡易集計による）

②延べ約500人（現地での簡易集計による）

オ その他 岡山県生涯学習センターでは、初日（10月11日）は正午から、最終日（10月15日）は15時まで開催

### (2) 児島湖ふれあい環境フェア（別添2参照）

児島湖流域の水質浄化などについての県民の意識と関心を深めるため、児島湖ふれあい環境フェアを開催した。

ア 日 時 9月9日（土） 10時～14時

イ 場 所 児島湖流域下水道浄化センター敷地内（玉野市東七区453）

## ウ 内 容

- ・ 児島湖流域環境保全推進ポスターコンクール入賞作品・啓発パネル展示
- ・ 児島湖に生息する魚類等の展示、水質測定体験
- ・ 環境保全啓発キャンペーン（環境保全啓発資材の配布）

エ 来場者数 約 8, 0 0 0 人（地域と下水道のふれあいデーの来場者数）

オ その他 「第26回地域と下水道のふれあいデー」との同時開催

### (3) 児島湖流域清掃大作戦（別添3参照）

地域住民をはじめとした県民の環境保全意識の高揚を図るため、児島湖及び流入河川等において一斉清掃を実施した。

また、県締切堤防会場では、清掃活動終了後に、児島湖への愛着を深めてもらうため、参加者にフナやモロコ、テナガエビの放流を実施した。

ア 日 時 11月5日（日） 8時30分～10時

イ 場 所 児島湖及び流域河川の7か所（全9か所）

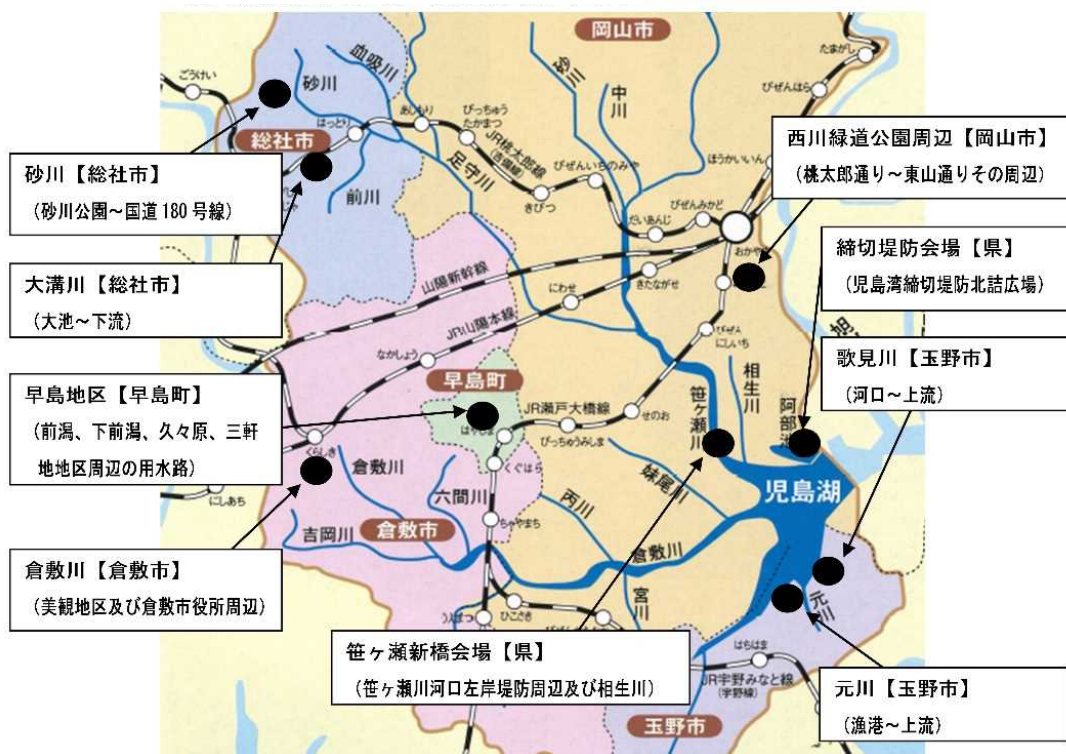
※歌見川会場（玉野市）は9月10日（日）7時～8時30分

早島地区会場（早島町）は台風のため中止

ウ 参加者数 4, 2 4 4 人（うち県主催の2会場：479人）

エ ごみ回収量 37. 7 3 t

#### 児島湖清掃大作戦 清掃会場位置図



### (4) その他

推進期間中、児島湖の環境保全を呼びかけるラジオスポットやインターネットなどによる広報のほか、ポスターコンクール入賞作品を掲載したポスター及びパンフレットを作成し、各種行事にて配布した。

#### 【参考：児島湖流域環境保全推進ポスターコンクール】

募集期間：平成29年5月1日（月）～6月9日（金）

応募作品：計621点（小学生の部453点、中学生の部168点）

表彰：入賞作品14点（岡山県知事賞など）、入選作品86点



## ポスター・パネル展の実施状況

### (1) 倉敷会場

会場：アリオ倉敷（倉敷市寿町12-2）

日程：平成29年9月1日（金）～5日（火）



コンクール入賞・入選作品の展示



環境保全啓発パネルの展示



児島湖に生息する魚類の展示



児島湖に生息する魚のぬり絵体験



児島湖に生息する  
プランクトンの顕微鏡観察

(2) 岡山会場

会場：岡山県生涯学習センター（岡山市北区伊島町3-1-1）

日程：平成29年10月11日（水）～15日（日）



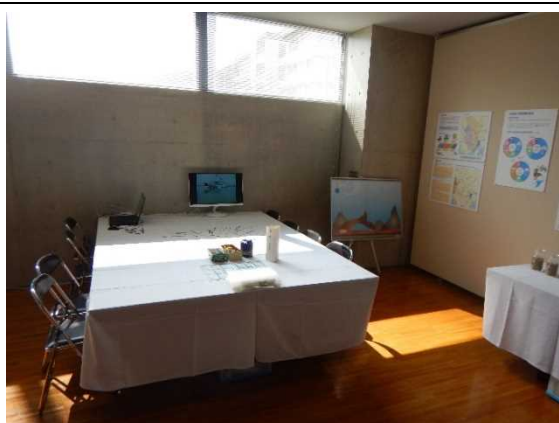
コンクール入賞・入選作品の展示



環境保全啓発パネルの展示



児島湖に生息する魚類の展示



児島湖に生息する魚のぬり絵体験



児島湖に生息する  
プランクトンの顕微鏡観察



## 児島湖ふれあい環境フェアの実施状況

会場：児島湖流域下水道浄化センター（玉野市東七区 4 5 3）

日程：平成 2 9 年 9 月 9 日（土）



コンクール入賞・入選作品の展示



環境保全啓発パネルの展示



児島湖に生息する魚類の展示



啓発資材（クリーンネット等）の配布



パックテストを使用した水質測定体験



自転車による発電体験

## 児島湖流域清掃大作戦の実施状況

会場：縮切堤防会場、笹ヶ瀬新橋会場（県主催会場）

日程：平成29年11月5日（日）



清掃活動（縮切堤防会場）



魚類の放流（縮切堤防会場）



清掃活動（笹ヶ瀬新橋会場）